

◇ 6月の天文暦 ◇

日 時	記 事
2 3	月 最近
6 7	芒種 (太陽黄経 75°)
6 21	上弦
11 13	入梅 (太陽黄経 80°)
12 4	水星 外合
14 11	望
17 19	月 最遠
21 24	夏至 (太陽黄経 90°)
22 15	下弦
29 14	朔
29 16	土星 留
30 9	月 最近

東京における日出入および南中 (中央標準時)

VI月	夜明	日出	方位	南中	高度	日入	日暮
日	時分	時分		時分		時分	時分
1	3 50	4 27	+28°0	11 39	76°2	18 51	19 28
10	3 47	4 25	+29.4	11 40	77.3	18 56	19 34
20	3 47	4 25	+30.0	11 42	77.8	19 0	19 38
30	3 50	4 28	+29.7	11 44	77.6	19 1	19 39

各地の日出入補正值 (東京の値に加える)

(左側は日出, 右側は日入に対する値)

	分	分	分	分	分	分	分
鹿児島	+48	+26	鳥取	+24	+23	仙台	-11 +3
福岡	+44	+28	大阪	+20	+14	青森	-19 +12
広島	+34	+26	名古屋	+14	+6	札幌	-29 +17
高知	+32	+21	新潟	-3	+5	根室	-47 0

惑星とギリシャ神話 (その1)

小惑星も含めて惑星や衛星の名はギリシャ神話から来ている場合が多い。星座の名も多くはギリシャ神話に由来しているが、こちらが主として英雄(多くはゼウスと人の間にできた半神)の物語であるのに対して、惑星の名は天地創造の時に活やくした中心的な神々の名にもとづいている。以後何回かにわけてギリシャ神話による天地創造の物語をして惑星の名の由来を考えてみよう。ただギリシャ神話には異説が多く話のつじつまがあわなくなる場合が出てくることをご了承願いたい。

惑星の名はギリシャの神々の名に由来するといったが、実はギリシャ神話と似たローマ神話というのがあり、惑星の名はローマ神話に登場する神々の名になっている。そこで今回はまず整理の意味でこうした神々の一覧表をあげ、対応をつけていただくことにしよう。(㊦)

ギリシャ神話の神々

ギリシャ神話	ローマ神話	記 事
Zeus	Jupiter	男神, 主神
Hera	Juno	女神, Zeus の妻
Doseidon	Neptune	男神, Zeus の兄, 海神
Ares	Mars	男神, Zeus の子, 軍神
Apollon	Apollo	男神, Zeus の子
Hephaistos	Vulcan	軍神, Zeus の子
Hermes	Mercury	男神, 神々の使者
Athena	Minerva	女神, 戦争と平和の神
Arthemis	Diana	女神, Zeus の子
Aphrodite	Venus	女神, 美と愛の神
Hestia	Vesta	女神, Zeus の姉
Demeter	Cesta	女神, Zeus の姉
Eros	Eros	女神, 愛の神
Uranus	Uranus	男神, Cronos の父
Cronos	Saturn	男神, Zeus の父

上の12神はいわゆるオリンポスの12神

